

【素々案】

**第二次千曲市総合計画
後期基本計画策定方針（骨子案）**

令和元年 11 月

千曲市 企画政策部 総合政策課

目次

1. 策定方針について	1
2. 計画策定の趣旨	1
3. 策定の基本的視点	1
① 市民との協働による計画づくり	1
② SDGsの理念を踏まえた持続可能なまちづくりを目指した計画	1
③ 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略との統合	2
④ 厳しい財政事情への対応	2
⑤ 財政計画の策定	2
4. 市民参加の手法と情報公開	2
5. 庁内の推進体制	3
6. 議会との連携	4
7. 進捗管理	4
8. 策定スケジュール	4

1. 策定方針について

この策定方針は、「第二次千曲市総合計画・後期基本計画」を策定する理由及び策定に当たっての本市の基本的考え方などを定めるものです。

2. 計画策定の趣旨

第二次千曲市総合計画・後期基本計画の策定にあたっては、前期基本計画に基づいた施策を評価したうえで、総括する必要があります。また、変革する時代に対応していくため、現状の的確な把握や社会潮流の見極め、従来の慣習にとらわれない創意・工夫などが求められています。

これらの点に留意し、前期基本計画での施策をさらに深化させるとともに、将来像の実現に向けた基本方針として、策定します。

3. 策定の基本的視点

以下に掲げる視点に立ち、第二次千曲市総合計画・後期基本計画がまちづくりの目標として、市民と共有できるよう策定作業を進めます。

① 市民との協働による計画づくり

→計画の策定プロセスを重視。策定過程で市民が参画し、意見や提案を集約できる場を設定することで、市民と行政それぞれの役割分担や連携のあり方を示した計画とする。

② SDGsの理念を踏まえた持続可能なまちづくりを目指した計画

→SDGsの考え方や施策の体系的な整理が必要。市民や市内事業者等の共通の目標とする。

③ 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略との統合

→第二次千曲市総合計画は、千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含した内容となっており、両者を個別に持つ意義は薄れている。しかしながら、「地方創生推進交付金」の活用にあたっては、総合戦略での位置づけが必須である。現状では、計画期間のズレから二重管理の状態であり、施策の位置づけ等が複雑になり、市民がわかりにくい計画体系となっている。両計画を統合し、各施策の進行管理を明快にする。

④ 厳しい財政事情への対応

→各種施策・事業は、その必要性に立ち返って様々な視点から検討する必要がある。「量から質への転換」「選択と集中」など、限られた経営資源を効率的に配分し、財政状況等に即したより実効性のある計画とする。

⑤ 財政計画の策定

→後期基本計画の計画期間（令和4～8年度）中に実施する主な大規模事業を見込み、年度ごとの財政規模を推計する。

4. 市民参加の手法、情報公開

策定に当たっては、「ともに考え、ともに決定する」というパートナーシップの理念を尊重していく。

そのため、アンケート調査やワークショップ結果など計画案の作成段階から市民の意見反映に努めるとともに、まちづくり懇談会やパブリックコメントなど素案に対する意見を募り、積極的な市民参画を図る。

また、審議会を設置し、計画全体を審議する「全体会」と施策目標ごとに

設置する「部会」の2部構成とし、委員は両会を兼務し、その運営を通じて、より多くの市民の意見を反映させていく。

5. 庁内の推進体制

総合計画策定にあたり、庁内組織として「千曲市総合計画策定委員会」を設置する。この委員会は、総合計画の基本計画案についての調査審議・策定を所掌事項とするが、その実践にあたっては、市民等で組織する総合計画審議会との連携を保ちながら十分議論を重ね、両者で確認・共有した「まちづくりの将来都市像、まちづくりの目標」を達成するための施策体系を組み立てていく。

このほか、計画策定における職員参加については、「千曲市職員提案規程」を準用し、職員自らが千曲市の将来ビジョンを実現していくための施策や事業などについて提案を求めるほか、将来の市政を担う若い職員を中心メンバーとする提言組織についても公募により設置する。

また、将来の千曲市を見据えた計画を策定していくことの重要性に鑑み、行政評価制度の定着を図る。

6. 進捗管理

計画の進捗状況がよりわかりやすく、把握しやすくなるよう「成果指標」「重要業績評価指標（KPI）」の見直しを行う。また、行政評価の実施により、PDCAサイクルによる計画の着実な推進を図る。

7. 議会連携

総合計画の策定にあたり、議会との連携は不可欠である。「基本構想素案策

定時」「基本計画素案策定時」「基本構想・基本計画最終案策定時」の各段階で議会に諮りながら進めていく。

8. 策定スケジュール

→別表にて作成する。